広報係がカメラを持って伺います。

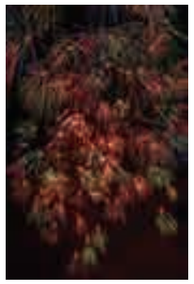
まちかどトピックス

秘書室（担当：石倉一樹）☎43-0387

歓声に湧く、東条湖

8月1日、東条湖特設会場で夏の風物詩として恒例の加東市花火大会を開催しました。

昨年に引き続き、今年も駐車券付きの有料観覧席を開設したほか、今回の目玉として『日本の特選花火コレクション』を実施。花火競技会で優勝や受賞歴を持つ10社が持ち寄った花火が打ち上げられ、観客からは大きな歓声と拍手が送られました。



夏の夜、風物詩を満喫

7月15日、平池公園で夏のフェスティバルが開催されました。地元の子どもたちによるステージや総踊りのほか、花火が打ち上げられるなど、集まった人々の心を魅了しました。総踊りにお母さんと参加した藤本唯花さん（5歳）は「盆踊りは楽しかったよ！」と笑顔でした。

河高地区の歴史書完成

河高地区が歩んできた歴史を史実に基づき、資料として後世に残し伝えていくための歴史書が完成しました。

発刊したのは、『河高地区歴史書編纂委員会』のみなさん。4年半の歳月をかけ、34回もの編集会議や、地区に住んでいる方々への聞き取り調査などを経て、このたび発刊へと至りました。

河高区長の丸山健次さんは、「資料集めに苦労したが、地元の方は大変喜ばれているので、良かった。近隣の方にも河高の歴史を知ってもらえたら嬉しいです。」と話されました。

購入を希望される方は、1冊1,000円で販売中です。「河高交流センター」までお申し込みください。

問 河高交流センター
☎48・5691
※土日祝日を除く平日の午前のみ受付

秘書室にインターンシップ実習生

8月7日～10日の間、秘書室に、小野高校の西本綾華さん（2年生）が、インターンシップ生として、取材や広報作成のほか、実際に自分が作成した記事を手に、担当課に校正依頼をするなど、様々な業務を体感しました。

西本さんは「仕事は難しかったですが、将来仕事を選ぶときの参考になると思います。」とインターンシップを振り返りました。27ページ下部2段の記事は、西本さんが書いて、校正をした記事です。

私が書きました！
小野高校2年
西本綾華さん

100歳おめでとうございます

土肥（どひ）　君子（きみこ）さん（新定）

大正7年7月10日生まれ

藤本（ふじもと）ナツ子（こ）さん（貝原）

大正7年7月11日生まれ
お花を見ることが大好きです。

平成30年8月20日現在　市内　100歳以上の方　31人（男性3人　女性28人）

笑顔と粘りで試合を制す

8月4日、近畿ろうきん杯第32回学童軟式野球兵庫県決勝大会が加西市民グラウンドで米田少年野球クラブと稲美エンジェルスが対戦しました。先攻の米田少年野球クラブは、1回表に1点を先制。その裏に5点を取られましたが、その後、3回と5回に点を取り返し、逆転勝利。三回戦に進出しました。

試合でホームランを打った竹内響希さん（附属小5年）は「次の試合もホームランが打てるように、もっと練習を頑張りたいです。」と闘志を燃やしていました。

ひとつのボールが心を繋ぐ

7月29日、北播衛生事務組合管理者杯争奪少年サッカー大会が、北播衛生事務組合スポーツ公園で開催されました。

この大会は、サッカーを通じて、技術と心身の向上を目的に平成3年から開催されており、今年で28回目。今年は28チームが出場したほか、親善として台湾の少年サッカーチーム「デザフィーオ」が招待されました。

同日開催された、6年生の部決勝では、社FCと対戦しました。試合の後、親善の証として、社FCからは加東市の特産品であるこいのぼりが、デザフィーオからは、パインケーキが手渡されました。

ノリウツギ、見頃です！

播磨中央公園にある四季の庭の花壇を、ボランティアで手入れされている、ハチドリの会から、「ノリウツギの花が綺麗に咲いています」と、お便りをいただきました。散歩や、遊びにでかけられた際は、ぜひご覧ください。

水辺の生き物調査隊

8月9日、東条川で、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもと『水辺の生き物調査隊／かとう自然がっこう「川の巻」』が行われ、48人の小学生が参加しました。

参加した子どもたちは、講師の三橋弘宗さんから水中の生き物の捕り方や注意点を聞いた後、川に入り、生き物を調査しました。

子どもたちは、多くの種類の生き物を捕ることができ、中には、ナマズの赤ちゃんを捕まえた子もいました。

水中の生き物を観察した後は、三橋さんから試験薬を使用した水質検査の実演・講評があり、子どもたちは親しみのある東条川から、自然環境について学ぶことができました。

参加した蓬莱茜さん（福田小5年）は「川の生き物や環境について知ることができてよかったです。」と笑顔で話してくれました。

災害ボランティアに参加

8月1日、加東市社会福祉協議会が西日本豪雨災害被災地にボランティアを派遣しました。

出発にあたり、加東市社会福祉協議会吉村会長の挨拶や加東市長から激励の言葉がありました。

今回は、社高校や兵庫教育大学への声掛けと、ホームページでの一般募集により、大学生、高校生、社会福祉協議会職員らの計27人が参加し、マイクロバスとワゴン車に乗り合わせて岡山県倉敷市へ向かいました。

現地では、3班に分かれて、猛暑の中、限られた時間で、泥出しや家具の搬出のほか、清掃作業をしました。

全国から大勢のボランティアが来られていましたが、復興には、まだまだ、皆さんの協力が必要とのことです。